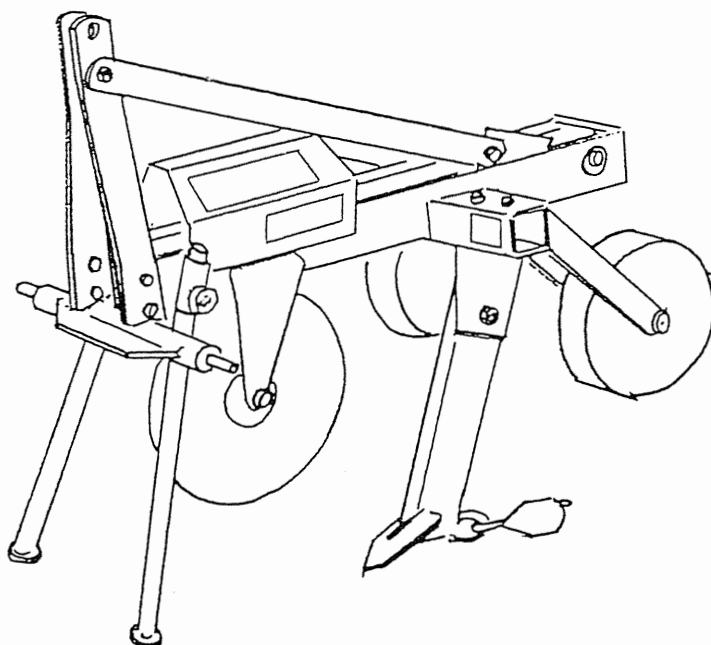


取扱説明書

パワーソイラー

SV451



当商品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方
をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

使用前に必ずお読みください。

お読みになった後も必ず商品に近接して保管してく
ださい。

9803-W31001000-0

目 次

はじめに	1
安全に作業するために	2
◎一般的な注意事項	2
◎作業の前に	3
◎トラクタへの着脱	4
◎路上走行	5
◎圃場の出入り	5
◎作業をしているとき	6
◎トラクタを止めるとき	7
◎点検や格納のとき	7
安全銘板貼り付け位置	8
保証とサービスについて	9
◎保証書について	9
◎アフターサービスについて	9
◎補修部品の供給年限について	9
各部の名称	10
装着前の点検	10
装着方法	11
◆トラクタへの装着順序	11
重要 ◆ユニバーサルジョイントの切断方法	12
調整方法	13
作業方法	13
◎作業の要領	14
保守管理	15
主要諸元	15

ササキ商品をお買上げいただき、 誠にありがとうございます。

はじめに

- ◎この取扱説明書はパワーソイラーの取扱方法と、使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でお使いください。
- ◎本機は弾丸暗渠及び耕盤・心土破碎をする作業機です。その他の目的で使用しないでください。
- ◎お読みになった後は必ず製品に近接して保管してください。
- ◎本商品を貸与又は譲渡される場合は、この取扱説明書を商品に添付してお渡しください。
- ◎この取扱説明書を紛失又は損傷された場合は、速やかに当社又は当社の特約店・販売店にご注文ください。
- ◎なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本商品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ◎ご不明なことやお気づきの点がございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- ◎ 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



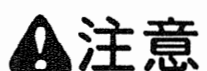
危険

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。



警告

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

この警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- ◎この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

安全に作業をするために

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、ご理解いただいたうえで安全な作業を行ってください。安全に作業するためにぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりですが、これ以外にも本文の中で「▲ 警告サイン」として説明の都度取り上げております。

◎一般的な注意項目

▲ 警告 こんなときは作業をしない。

過労・病気・薬物の影響、その他の理由により
作業に集中できないとき。

酒を飲んだとき。

妊娠しているとき。

18才未満の人。

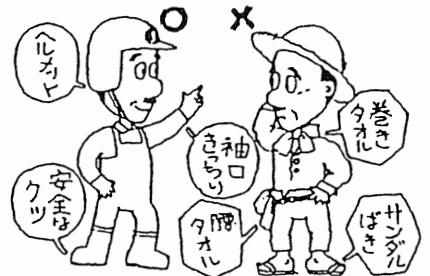


▲ 警告 作業に適した服装をする。

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘル
メット・滑り止めのついた靴を着用し、作業に
適した防護具などを付け、だぶつきのない服装
をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれ
があります。

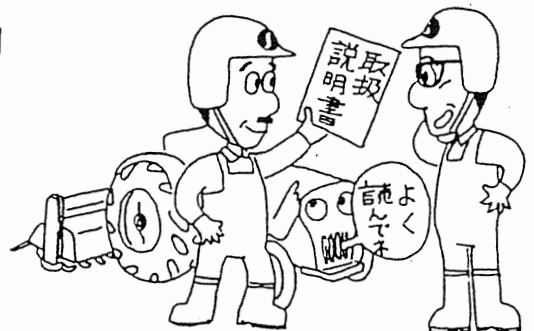


▲ 警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する。

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」
を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねく
おそれがあります。



⚠ 注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けないでください。



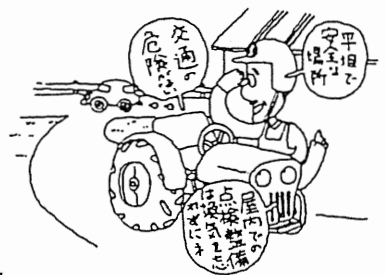
【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

◎作業の前に

⚠ 警告 作業点検整備は平坦で安定した場所で行う。

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない
平坦で安定した場所で、トラクタの前輪には輪止め
をして点検整備してください。



【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ず
エンジンを停止してください。



【守らないと】

機械の下敷きになるなど、障害事故をおこすお
それがあります。

⚠ 注意

◇作業の前には点検・整備を行ってください。

◇各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。

◇カバー類を外したら、必ず取り付けてください。

◎トラクタへの着脱

▲ 警告 作業機の着脱は平坦な場所で行う

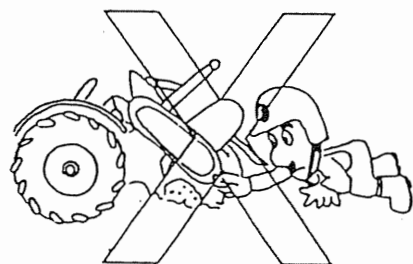
作業機の着脱は平坦で安定した場所で行ってください。
夜間は、適切な照明をしてください。



【守らないと】

事故を引き起こすおそれがあります。

▲ 警告 作業機の下にもぐったり、足を入れない
作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないで
ください。



【守らないと】

何かの原因で作業機が下がったときに、障害事故を負
うおそれがあります。

▲ 危険 運転時はジョイントカバーを外さないでください

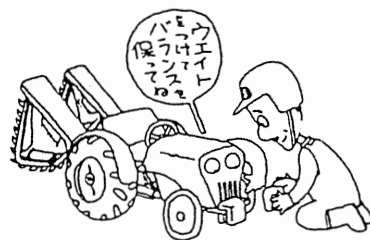


【守らないと】

ジョイントに巻き込まれて障害事故をおこすおそれ
があります。

▲ 警告 重い作業機をつけるときはウエイトでバランスを取る

重い作業機を装着したときは、フロントにバランス
ウエイトをつけてバランスを保ってください。



【守らないと】

バランスを崩して事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意

- ◇トラクタから離れるときはエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてP T O変速を中立にしてください。
- ◇二人以上で着脱を行う場合は、互いに合図を確認しあって作業してください。
- ◇ユニバーサルジョイントの止めピンが確実に軸溝にはまっているか確認してください。
- ◇取付け部の止めピンが全て確実に装着されているか確認してください。

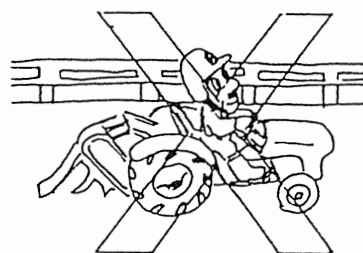
◎路上走行

⚠ 注意 公道走行時は作業機の装着禁止

公道走行をするときは、作業機を取り外してください。

【守らないと】

道路交通法違反です。事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◇トラクタ、作業機に運転者以外の人を乗せないでください。
- ◇作業機の回転を止めて走行してください。
- ◇トラクタの落下速度調整ハンドルを回して必ず油圧ロックをしてください。
- ◇旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。
- ◇作業機を装着した時、機体寸法が大きくなるので移動走行時は十分注意してください。
- ◇溝のある農道や両側が傾斜している農道では、路肩に十分注意して移動してください。

◎圃場の出入り

⚠ 注意

圃場に入るときは、必ず前進で速度を落とし、作業機を低くして重心を下げ、アゼや段差に対して直角に進んでください。アゼや段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。

◎作業をしているとき

▲ 警告 回転部(爪、刃、軸等)に巻き付いた草等を取る時はエンジン停止

【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。



▲ 警告 子供を近づけない

子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 警告 トラクタと作業機の周辺に人を近づけない

トラクタを移動して作業機と着脱するときは、トラクタの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故をひき起こすおそれがあります。



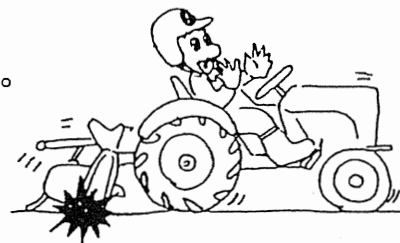
▲ 警告 作業機指定のPTO回転を守る

低速回転用の作業機を高速回転で使用しないでください。

作業機指定のPTO回転速度を厳守してください。

【守らないと】

作業機が異常作動し、事故や機械の破損を引き起こします。



▲ 注意

◇補助作業者がいる場合は、動作ごとに合図をかわして下さい。

◇回転部分が動くところには触れないで下さい。

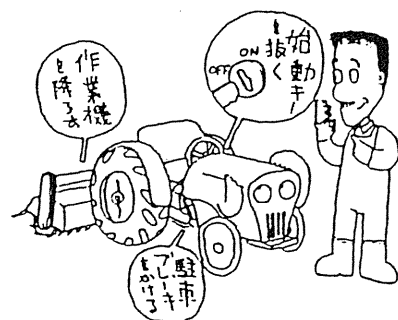
◎トラクタを止めるとき

⚠ 警告 機械から離れるときは作業機を地面に降ろしてエンジンを止める
機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、
エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け輪止めを
してください。

作業機を地面に降ろしてください。

【守らないと】

トラクタが動きだし、事故をおこすおそれがあります。

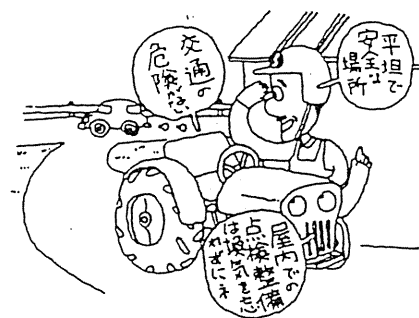


◎点検や格納のとき

⚠ 警告 点検整備は平坦で安定した場所で行う
交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない
平坦で安定した場所で、トラクタの前輪には輪止め
をして点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



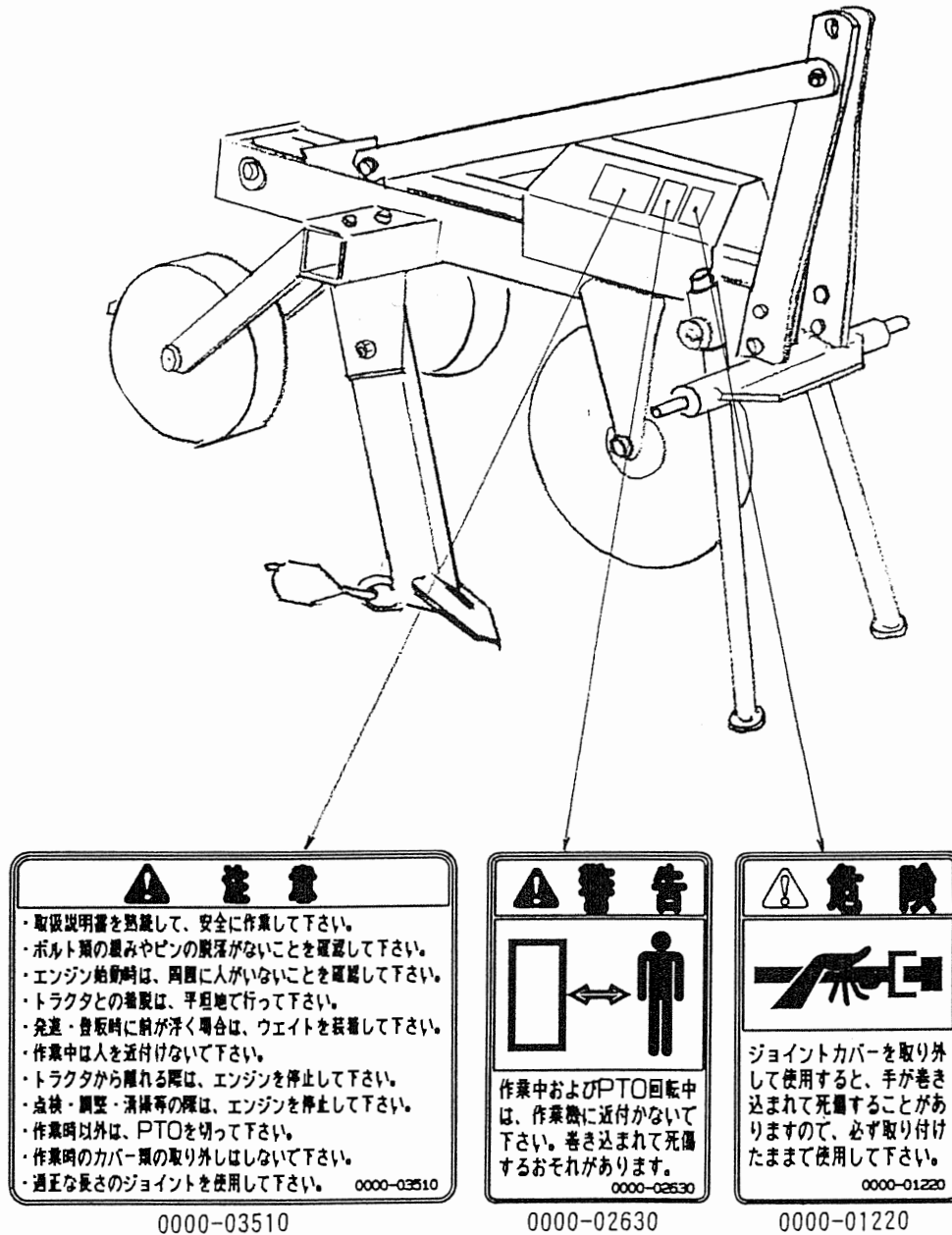
⚠ 注意

◇点検、整備時はトラクタのエンジンを止めてください。

◇機械の下にもぐったり、下で作業をしないでください。

◇キャスターなどが付いている場合、車止めをして作業してください。

安全銘板貼り付け位置



⚠️ 注意

☆安全銘板が破損したり、はがれた場合は、上記番号にて手配のうえ、貼り直してください。

☆新しい安全銘板を貼る場合は、汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

保証とサービスについて

◎保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

◎アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点等不具合がある場合はお買い上げいただいた販売店等へご相談ください。その際、次のことをご連絡ください。

◇型式名

◇製造番号

◇不具合状況

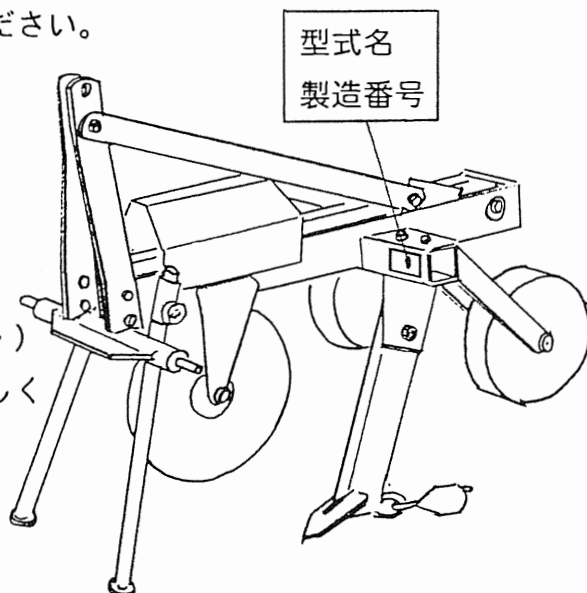
(どのような現象ですか?・・・)

◇ご使用状況は?

(どのくらい作業をしていましたか?・・・)

◇不具合が発生した時の状況をできるだけ詳しくご連絡ください。

(どんな作業をしていたときに?・・・)



◎補修部品の供給年限について

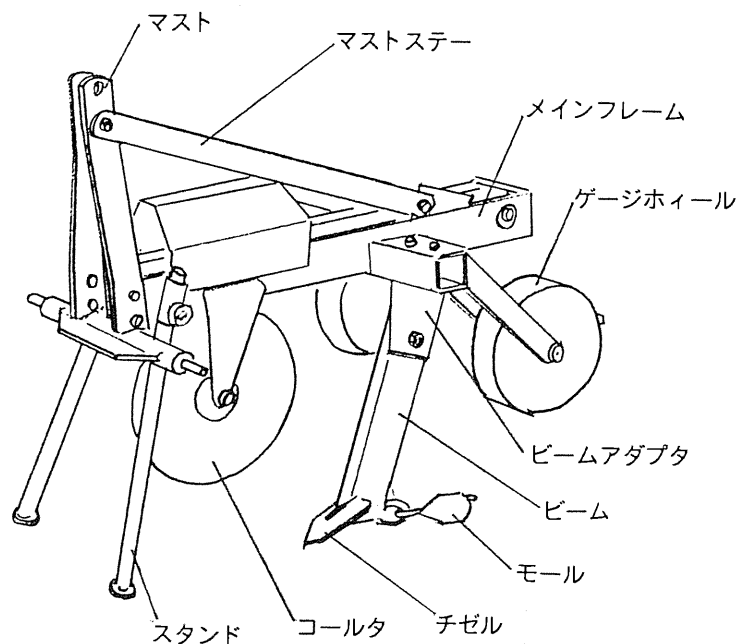
この製品の補修部品の供給年限は製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

各部の名称

各部の名称は右図のとおりです。

本機は下記のように分割して梱包されています。右図を参照して組立ててください。

名 称	数量
本 体	1
ゲージホイールASSY	2
コールタASSY	1
ビームASSY	1
スタンド	2
ユニバーサルジョイント	1
取扱説明書	1



◆組立上の留意点

①ビームは2ヶ所でボルト止めしますが、ボルトの種類にご注意ください。(M16X60)

☆ビームの上を止めるボルト⇒ボルト頭にHの記号があるもの＝固定ボルト

☆ビームの下を止めるボルト⇒ボルト頭にMの記号があるもの＝シャーボルト

本機の破損を防ぐシャーボルトは必ず下側に取付けてください。

②コールタを取付ける時は、コールタのグリースニップルが本体の後ろから見て右側になるようにしてください。

装着前の点検

①各部のボルト・ナット、ピン類の確認をし、緩んでいたり脱落していたら増し締め、補充をしてください。

②グリースを確認してください。

③トラクタの前輪が浮かないようにフロントウェイトを装着してください。

装着方法

- ①着脱はトラクタのエンジンを切って平坦な場所で行ってください。
- ②トラクタと作業機の間に入らないでください。
- ③二人以上の作業の場合はお互いに合図を確認し合って行ってください。
- ④トラクタの油圧レバーと本体の動きを確認し、誤動作のないようにしてください。

◆トラクタへの装着順序

本機のトラクタへの装着方式は標準3点リンク用の規格になっています。

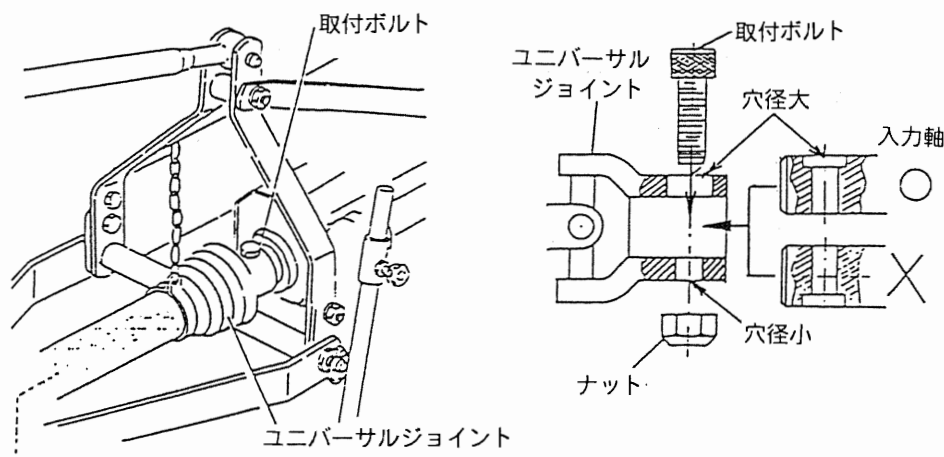
従いまして、短いトップリンクが付いている場合は、標準トップリンクに替えて装着してください。

- ①左ロワリンク、右ロワリンクの順に本体のロワリンクピンを装着してリンチピンで抜け止めをしてください。
- ②トップリンクを取付けてください。
- ③ユニバーサルジョイントの長さを確認してください。

長い場合は次頁のユニバーサルジョイントの切断方法を参照して切断してください。

- ④適正な長さにしたユニバーサルジョイントを装着してください。

作業機側の入力軸にユニバーサルジョイントを差し込み、取付ボルトで固定してください。
ジョイント側及び入力軸側ともに穴径の大きい方にボルト頭が入るようにしてください。



- ⑤ユニバーサルジョイントのポリカバーが回転しないように付属のチェーンをトラクタ側、作業機側に止めてください。
- ⑥ロワリンクのチェックチェーンは左右とも緩めてください。

重 要

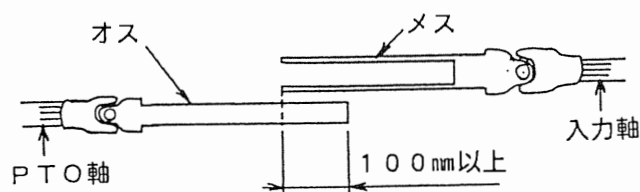
ユニバーサルジョイントはトラクタによって適正な長さの範囲から超える場合があります。短い場合は交換しなければなりません。長い場合は適宜切断して使用することができます。適正な長さの基準は下図のとおりです。

◎ジョイントのオス・メスを外してトラクタのP T O軸と作業機の入力軸に別々に取り付けてください。

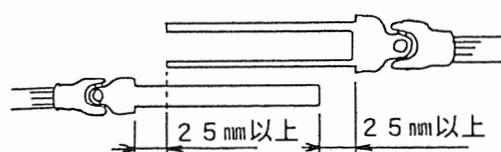
●ジョイントの最伸時（P T O軸と入力軸が一直線上にあるとき）にはオス・メスの重なりが100 mm以上が必要です。

●ジョイントの最縮時には下図のオス・メスのスキマが25 mm以上が必要です。

最伸時

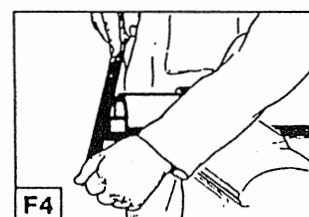
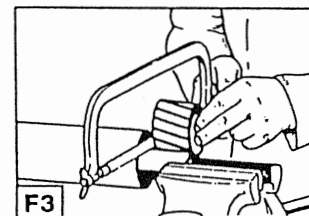
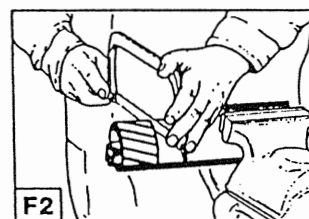
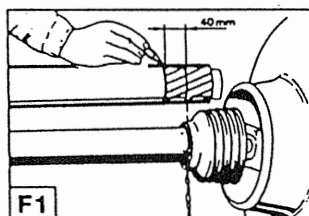


最縮時



◆ ユニバーサルジョイントの切断方法

- (1)ユニバーサルジョイントのオス・メスを外してトラクタと作業機の最短の作動位置に合わせ、その位置から25 mm以上、スキマに余裕のある位置にマークをつけてください。
- (2)オス・メスの安全カバーをマークした等しい長さだけ切断してください。
- (3)オス・メスの内・外筒チューブを安全カバーの切断部分と同じ長さだけ切断してください。
- (4)切断後は切り口にヤスリをかけ、バリを取り除き、スムーズにスライドできるようにしてください。



調整方法

1. 深さの調整方法

作業深さは25 cmから45 cmまで5 cm間隔で調整することができます。

ビームの取付け位置で調整しますが、取付ける時にボルトの種類を間違えないようにご注意ください。

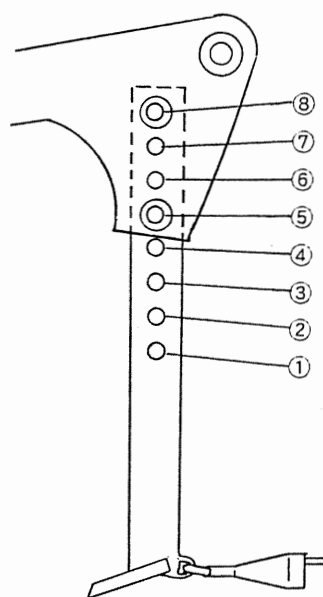
☆ビームの上を止めるボルト⇒ボルト頭にHの記号があるもの＝固定ボルト

☆ビームの下を止めるボルト⇒ボルト頭にMの記号があるもの＝シャーボルト

本機の破損を防ぐシャーボルトは必ず下側に取付けてください。

◆深さと穴位置の関係

深さ (cm)	25	30	35	40	45
穴位置	①④	②⑤	③⑥	④⑦	⑤⑧



2. 姿勢

作業時にメインフレームが水平になるようにトップリンクの長さを調整してください。

作業方法

- ①作業を始める前に各部のボルト・ナットの緩みを点検してください。緩んでいると、作業中に外れて大変危険ですから増し締めしてください。
- ②グリースが充分か確認してください。
- ③PTOを低速回転して異音の有無を確認してください。異音がする場合は、その原因を取り除いてから作業を行ってください。
- ④PTO回転数は540 rpmが標準です。回転数を上げ過ぎると振動が増大し、機械損傷の原因になりますので上げないでください。
- ⑤作業速度は2.5～6 km/hを目安にしてください。
- ⑥大きい石等がある場所では使用しないでください。機械を破損する原因になります。
- ⑦作業中異音を発した場合は直ちにエンジンを止め、速やかに作業を中止して原因を確認し対処してください。

- ⑧運転者が運転席を離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ⑨作業は蛇行しないで直線で行ってください。
- ⑩作業が終点まできたら走行を停止してPTOを切ってから作業機を上げてください。

⚠注意

3点リンクをいっばいに上げた状態ではPTOを回さないでください。

◎作業の要領

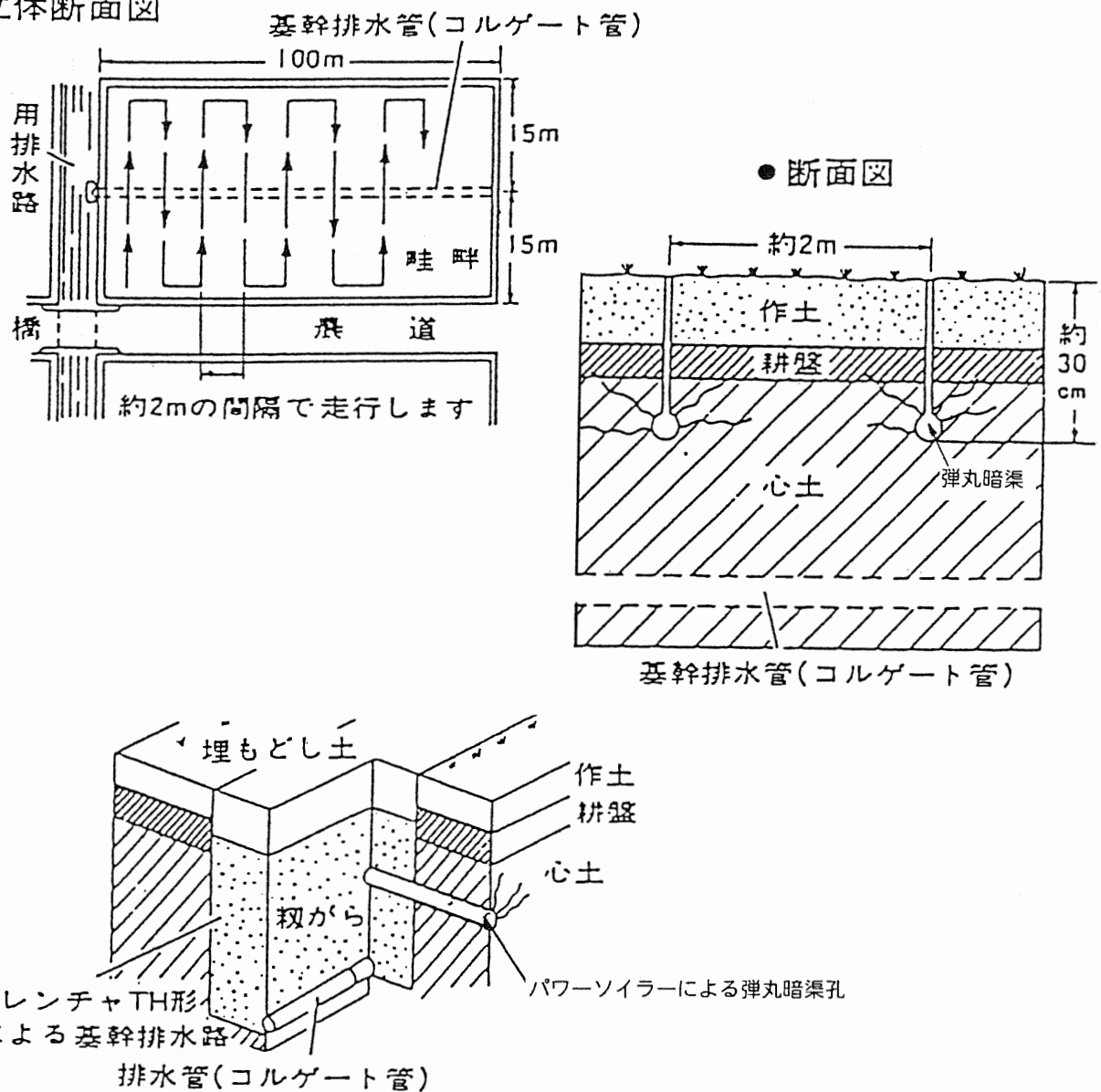
暗渠排水用の基幹排水管に交差して本機を通すと水田の停滞水が基幹排水管に導かれて排水が促進されます。

深さ約30cm、間隔約2mが標準的な方法です。

また、耕盤破碎あるいは心土破碎によって生じたヒビ割れにより通気性が改善されます。

転作畑、畑地等の心土破碎等により作物の根群域が拡大されます。

● 立体断面図



保守管理

- ①作業後は水洗いをし、土や泥、巻き付いた異物を取り除いてください。
- ②消耗部や破損箇所を確認し、交換又は修理をしてください。
- ③塗装がはげた部分には補修塗装をしてください。
- ④コールタ、ビーム、モール等には防錆油を塗ってください。
- ⑤各部のボルト・ナット類を増し締めしてください。
- ⑥格納に際しては、機械が安定するように注意してください。

主要諸元

型 式	S V 4 5 1
適応トラクタKW(PS)	11.8~22.1(16~30)
全長X全幅X全高	110X73X152cm
重 量	1 4 5 kg
作業深さ	25、30、35、40、45cm
作業速度	2.5～6 km/h

株式会社 ササキコーポレーション

本 社 ・ 工 場：〒034-8618 青森県十和田市里ノ沢1番地259 ☎0176-22-3111 FAX0176-22-8607
本 社 営 業 部：〒034-8618 青森県十和田市里ノ沢1番地259 ☎0176-22-0170 FAX0176-25-3127
部 品 セ ン ター：〒034-0001 青森県十和田市里ノ沢1番地75 ☎0176-25-3170 FAX0176-25-3171

北 東 北 営 業 所：〒034-0001 青森県十和田市里ノ沢1番地75
☎0176-23-0354 FAX0176-23-9655
仙 台 営 業 所：〒981-1201 宮城県名取市下増田字北原東180
☎022-382-4877 FAX022-384-1641
関 東 営 業 所：〒329-0201 栃木県小山市栗宮1241-9
☎0285-45-8911 FAX0285-45-8910
北 陸 営 業 所：〒329-0201 栃木県小山市栗宮1241-9
☎0285-45-8911 FAX0285-45-8910
東 京 営 業 所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-12-7京橋ヨコタビル5F
☎03-5524-0161 FAX03-5524-0162